

患者さまへ

「人工呼吸器関連肺炎(VAP)サーベイランスシステムの検証と

VAP 発生率の現状」

この研究は、この研究は、通常の診療で得られた記録に加え、新たに患者さまの情報を取得して行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2024年4月～2028年3月に当院救急集中治療室(EICU)で人工呼吸器を装着された/される方
2 研究目的・方法	<p>人工呼吸器の装着は全身状態の安定化に寄与するとされていますが、様々な合併症も引き起こすことが知られています。その中でも重要な合併症の一つに、人工呼吸器関連肺炎(VAP)があります。VAPの発生は入院期間、医療費、死亡率の増加をもたらすことから、VAPの予防は重要課題とされています。</p> <p>VAPの診断には標準的な基準が存在せず、施設間で発生率にばらつきがあるという報告があります。当院においてもVAPの診断基準はありませんでしたが、正確な判定ができるように2024年4月よりVAPサーベイランス(VAPの発生状況の調査)をシステムとして導入し、発生率をモニタリングすることといたしました。</p> <p>本研究では、VAPサーベイランスシステムによりVAP疑いとして抽出された患者さまのうち、実際にVAPと診断された患者さまの割合を調査することによりシステムの的中率を検証します。本研究の結果より、VAPの発生状況の正確なモニタリングを行うことができるようになる可能性があります。</p> <p>研究の期間:施設院長許可後(2024年8月)～2029年3月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、既往歴、体温、採血データ、画像検査、細菌検査、人工呼吸器の設定、細菌培養検査(喀痰培養)、胸部X線写真の所見、VAP診断の有無等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者: 森 大志 湘南鎌倉総合病院 看護部</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

鎌口 清満 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科・集中治療科

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2024年7月5日作成(第1.0版)